

刊夕 日六十月二



支那事變の特別税
石城で既に六萬圓
本年度の總額八萬圓以上か
縣下で凡そ七十萬圓

支那事變の特別税 石城で既に六萬圓

支那事變による特別税の一つである物品税平稅務署の徴收額は去る一月分の第一種甲類即ち貴金屬類製品に對するもの三十四圓で昨年四月から實施された前記一月までの同累計が四百十八圓、同乙類のノリヤス及び靴類その他一月計が四百十八圓の同累計計四千七百五十六圓、以上の販賣の外に第二種(雜貨)三味線などの製造に課するもの(税一月分は十四圓)此の累計計二千二百四十二圓また第三種(醸造税の外に販賣に課する一石五圓の酒類)では一月分七千四百一十一圓

專變時下の舊年末 平の市況異狀なし

賣出しのない寂しさの中に
實質的には昨年以上

平市の舊年末商況は餘日僅かに三日間に迫る正月を控えて念よ忙はしく時局例年のやうな顧客を誘ふ慌しい賣出しがないので見たところ何となく物足らなさを呈してはゐるが内面的には表面觀に反した好況で軍需景氣の響ひが淺からぬを窺はれるものに
驛の乗降去る十三日が乗二四八二降二三八二 十四日乗二一七六降二四八八
平市の舊年末商況は餘日僅かに三日間に迫る正月を控えて念よ忙はしく時局例年のやうな顧客を誘ふ慌しい賣出しがないので見たところ何となく物足らなさを呈してはゐるが内面的には表面觀に反した好況で軍需景氣の響ひが淺からぬを窺はれるものに
驛の乗降去る十三日が乗二四八二降二三八二 十四日乗二一七六降二四八八

邦語で云ふ三度のことは三度でサンボイまたは三次でサント、二分の一は二分之一、三分の二は三分之二でサンフエンチアル四分の三はスーフエンチサンだ

平驛の電話と偽り 小僧七十圓を詐欺

湯本驛からの高飛を御用

平市堂の前關口義人氏方へ昨十五日午後驛からの電話と稱して小荷物が來てゐるから金圓を懐ろに主家の自轉車(時價五十圓)で乗逃げ湯本町で七十圓を持って取りに來てくれと云はれた同家の妻君が最近の雇人藤岡縣生れ藤口勝三(仮名)に該金を渡し使ひに立たせようとしたところ現金十圓を残してた尚ほ驛の電話と稱するものがあるが其犯者を詮議中であるがまだ白しなし

銃の先に氷の花 零下四十五度の寒

平市胡麻澤出身 田山 實

世も忘れひたすら御國の爲め零下四十五度の酷寒ものかは志氣頗旺盛に御奉公の一念に燃えて居ります、遠く國境をへだて、敵機を睨みつゝも思ひは朝な夕な遙かに祖國の皆々様の邊りに馳せながら御無事を祈りつゞけて居ります、今や戦勝三年の新年を迎へ、愈々國家總力戦、ソ支二正面同時作戦の決心を固めねばならぬ重大時局に直而して居ります、小生は戦友達と共にいざ鎌倉と云ふ時にはいさぎよく後顧の憂ひなく、時に會へば散るも目出度し山櫻の華々しく、天皇陛下の御爲めに散らうではないかと誓つて居ります、御厚情に酬ゆるものは戦ひに勝つことのみです、どうぞ皆様にも時局柄一層の御健勝を以て銃後の護に御努力あらんことを御願ひ申上げます、御慰問品の御禮かたく(亂筆にて、 敬具

軍馬の香閣

石城郡の軍用候補馬練會高久、夏井、豊間三ヶ村を區域とする高久班では今十六日午前十時縣嘱託の鴻崎巳之助氏により高久小學校庭に於て香閣を行はれたが出場二十五頭好成绩の講評を受けた

軍馬影忠碑

石城郡玉川村では今次の事變に同村から戦地に向いた軍馬が兵と共に輝かしき武功を立て、斃れてゐるので此の碑を弔ふべく影忠碑の建設を計畫されてゐたが村内有志者の寄附五百十圓を得て陸軍少將高木美人氏の揮毫になる「軍馬影忠碑」を去る十三日大字住吉市館山の忠魂碑に建設竣功したがる櫻花の候に除幕式を舉行する

玉川村に 軍馬影忠碑

除幕式は來四月

軍用適格馬に 獎勵金交付

軍用適格馬の地方検査は昨年八月行はれて平市では左記二頭頭獎を受けてゐるが右に對して今十六日馬政局から各金

洋車初乗の記

松本 幸平

販賣を止められて警察署から配給することになつたに關し昨十五日平市警會議室に於て濱通り各警察署經濟主任會を開き縣から三林警部補出張右について打合せをなしたが平市では同配給につき來る十八日午前十時から同警會議室に管内の自動車營業者並びに所有者百六十名を招集し申請手續等の示達をなすと

飯野で遺族慰問

石城郡飯野村の銃後會では舊年末の出征軍人遺族慰問に家庭の状況により金二圓、三四圓に分けて慰問金を贈ると

今朝好間の火事

今十六日午前四時頃石城郡好間村の下好間字榎木平福井一

二日市初賣に就て

來る舊正月二日市初賣に就て左記の通り御實行御願ひ致します

平市各商店御中 平市御客様御中

平商工會

所謂呼ぶ爲の「ヨウ」ではな習つた漢文も何の役にたたく要即ち必要かの意味で洋ね、そんな事にはお構へなしに車に乗らんか、洋車は要らん洋車夫は一直線に西へ〜とかの意味なのだ、驛前は勿論走る計だ、このまゝにして風が吹き曝され、或は流して歩いてゐて、客を呼んでゐるのだが、が乗つたは因果苦せねばならぬ、窮すれば通ず心の巻、大休のコースは承知出た〜珍迷案、然し右(左)してゐるが、眞直な本道に出左(右)こんな事で通じない位つては見たもの、肝腎の支那と走る、

正、大内準吾、猪狩七郎三世帯が住む長屋から發火し約三分で同一棟を全焼領火した原因はストーブの不仕末らしく損害約百五十圓の由

ファイバー製 國策ランドセル 雨にも雪にも防水 完全目方が軽くて体裁も投げて踏んでもビクともしない ながもちする事優に三倍 小型金彩園 大型金彩園 電話 313番

文魁文堂 電話 313番

農業方面

メロンの栽培 一物に全力

(1) それで全国に知られた篤農家の談

静岡縣磐田郡井通村の氣子島に於ける篤農家伊藤左一氏(三〇)は長期戦下の新春を迎へて「この一年間如何なる方針のもとに堅實な經營を維持して行くか」の質問に次の如く語つた、話はちよいと廻るが大正八年縣立中泉農學校を卒業した伊藤氏はその足で名古屋市の清洲農事試驗場に一年間實地見習に専念以來京都、大阪、東京の各試驗場をはじめ千葉、神奈川縣下の篤農家の實際を熱心に見學して廻り歸宅後はこの經驗を基礎として先づ都會向きの蔬菜栽培に力を入れた、都人の味覺を満喫させる「花野菜」など樂に一つ坪當り三、四十圓の収益をあげて附近の農家を驚かし、この頃から伊藤氏は將來最も有望である温室經營に着眼し父を説いて愈々温室事業としてのスタートを切つた、現在同氏が全國に篤農の名を知られてゐる所似は一にこの卓越せる温室栽培にあるのである、

伊藤氏はそして茄子に胡瓜、メロン等の栽培に精進しはじめた氏の名をとつて「左一茄子」と呼ばれた温室茄子、東西各市場で絶大な人気を博した胡瓜等々、しかし伊藤氏の研究熱はこんなことで満足せず愈々機械化して遂に持前から「一物主義」へ邁進すべく茄子も胡瓜もパツタリヤ

めてしまつた残るはたゞメモ
ンである、

藤沼醫院

平市紺屋町。電五〇七番

平病院

(平市元共済病院跡)
電話六四一(番)

院長 醫學博士 鈴木定藏

小兒科 院長 鈴木定藏

內科 副院長 高橋俊幸

皮膚泌尿科 院長 鈴木定藏

物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

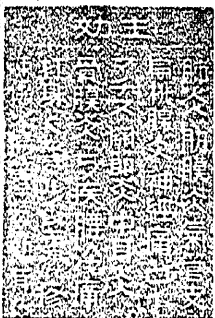
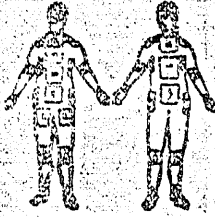
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從來す(急患は此の
限りにあらず)

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鮮魚食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話 本業部二七〇番
店部二七〇番



山崎合名會社
平市 五丁目
山崎藥局

根本産婦人科醫院

平市南町

根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

(入院隨時)

本院に設備
各種検査
X線検査
レントゲン検査
各種手術
産科手術
婦科手術
小兒科手術
泌尿科手術
皮膚科手術
物理療法
薬劑科

本院に設備
各種検査
X線検査
レントゲン検査
各種手術
産科手術
婦科手術
小兒科手術
泌尿科手術
皮膚科手術
物理療法
薬劑科

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
- 一、口腔外科
- 一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野嘉次
日大齒科醫學士 關谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義
電話五〇九番
平市田町(松月堂向)

便利で
經濟な 日下家政婦會の
派用婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です

平市白銀町十番地 (電話七二三番)

日下家政婦會

會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

新時代の要求

附屬事業に等外看護婦を特設いたし
皆様の御用向へ身元確かなる婦人を
派出致します

平看護婦會

平市南町 電話三〇七番
會長 菅野キヨ
御手不足の御家庭
輕い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

カバンと洋品類



眞砂屋 (平市新道) (電話五六)

帝國海上保險株式會社

安田系統の帝國海上
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番